

## はじめに



本市は、武蔵野台地のほぼ中央、植物の生育に適した関東ローム層の地質を有し、野菜や果樹、花卉、植木などが生産され、農家の庭先直売所では新鮮で安全・安心な地場産農産物を手に取ることができ、みどりと住宅がバランスよく存在することを特徴としています。また、本市にある農（農業、農地）は市民に不可欠な食料を安定的に供給する基盤であるとともに、環境保全や防災など、多面的機能を有しており、大切な緑の空間でもあります。

近年、農地の減少や農業者の高齢化、後継者等担い手不足、相続等に伴う農地の減少に加え、地球温暖化や不安定な世界情勢の影響による資源・資材の高騰など、農業を取り巻く状況は非常に厳しいものとなってきております。

このような状況の変化を踏まえ、本市における農業振興の方向性を定めるため、この度、第3次西東京市農業振興計画を策定いたしました。多様な担い手の確保・育成、SDGs や環境保全への配慮、農地の保全など、都市と農業が共生するまちの実現に向けて、持続可能な農業経営の環境を整えるとともに、都市農業の多様な機能を適切かつ十分に発揮できるよう、地域に密着した農業の振興に取り組みます。

これからも農業者や市民の皆様、関係機関等のご理解とご協力をいただき、本計画に定める事業を着実に推進することにより、農業、農地がまちの中で輝き、「まちと共生、未来につなぐ西東京市の農業」となることを目指してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました「西東京市農業振興計画推進委員会」の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメント等で多くの貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6(2024)年3月

西東京市長

池澤隆史